

地域課題の解決に向けて 赤い羽根共同募金運動の成果

助成の事例 | 地域のさまざまな課題を解決するために

赤い羽根共同募金に寄せられた募金の約7割は、募金をいただいた市区町村内で使われます。残りの約3割は、皆さまの住んでいる都道府県内で、広域的な課題を解決するための活動に使われています。

令和5（2023）年度にお寄せいただいた募金により、全国44,630件の地域福祉活動を応援しました。ここでは、共同募金により応援した活動の一部を紹介します。



募金活動の様子

大分県 大分大学「手話サークルたなごころ」

ネット募金

赤い羽根共同募金にインターネット上でご寄付いただけます。



はねっと

赤い羽根共同募金の使いみちはこちらからご覧いただけます。



送迎用車両整備事業



福島県 特定非営利活動法人 クローバー福祉会 ワークフレンドくじら

赤い羽根共同募金の助成により、10人乗りの新車の送迎車両を購入することが出来ました。事業所が所在する場所は公共交通機関が通っておらず、ほとんどの利用者が毎日送迎サービスを利用しています。新車を購入出来たことで安全かつ快適な移動を確保出来るようになりました。利用者の皆さんも新しい車が来たと大喜びしています。

地域住民交流事業 (地区防災訓練)



高知県 馬路村 日浦地区

防災意識を高め、地域住民同士のつながりを作るために、地区での防災訓練を行いました。子どもから高齢者まで70人近くの参加があり、参加者からは「顔つなぎができた」という声を聞くことができました。

たくさんの住民の皆さんに参加してもらったことで地域の絆が深まったと思います。ありがとうございました。

福祉教育実践校事業



静岡県 袋井市社会福祉協議会

袋井市では18の小学校・中学校・高等学校が福祉教育に取り組んでいます。福祉教育では車いす体験やアイマスク体験、地域の当事者講師（身体や視覚、聴覚に障害のある方）による講話などを行いました。子どもたちからは「今まで気づかなかった色々なことが知られてうれしかった」「福祉はみんながしあわせになることだと思った」という声が聞かれました。

はっぴい・みらくる フェスティバル



兵庫県 特定非営利活動法人 あんだんて KOBE

知的障害や発達障害のある児童および青少年、成人を対象に、音楽を通じた余暇活動を行っています。演奏をすることで協調性を養ったり、ソロのパフォーマンスを通して積極性や自己表現力を高めたりと、参加者一人ひとりにさまざまな成長が見られました。また、コンサートの練習に参加することで自立への一歩を踏み出した例もありました。

▶ 令和5(2023)年度 共同募金運動の概要

募金総額

共同募金総額	16,072,481,427 円
赤い羽根共同募金	12,076,014,881 円
地域歳末たすけあい募金	3,553,875,592 円
NHK 歳末たすけあい募金	442,590,954 円

助成総額

共同募金助成額	13,775,233,087 円
赤い羽根共同募金による助成	10,012,750,942 円
地域歳末たすけあい募金による助成	3,306,299,909 円
NHK 歳末たすけあい募金による助成	456,182,236 円



栃木県 那珂川町立馬頭中学校

募金活動の様子



埼玉県 ボーイスカウト

防災体験会



長野県 社会福祉法人 筑北村社会福祉協議会

防災グッズの展示や体験を通して、いざという時のための備えを確認できました。実際に災害が起きたと想定して、その状況を体感したり対処法を学んだりすることで、有事の際にも冷静に行動できるよう訓練ができたと思います。日頃から災害に対して関心を持ち、さまざまな防災に関する知識も得られました。

声かけ・見守り、買い物・通院送迎、ゴミ捨てその他の生活上の支援 (高齢者対象)



岡山県 西一たすけあい隊

無償で高齢者の支援活動を続けていましたが、昨今のガソリン代等の高騰を受け、隊員の負担が増え困っておりました。しかし、ガソリン代等の助成をうけることができたおかげで隊員たちのモチベーションもあがり、活動を続けています。免許返納をされた方からは「車がなくなり困っていたが、送迎やゴミ捨てなどのサポートをしてもらい本当に助かっている」と感謝の声も届いています。

児童・青少年福祉活動事業



山口県 幸せます防府市子ども食堂ネットワーク協議会

子ども食堂は、子どもの食育や居場所づくりに加えて、高齢者や障がい者を含む地域住民の交流拠点としての面をあわせ持っています。子ども食堂の開設や同食堂の安定的、継続的な運営を支援するための、必要な人材、資材、資金、情報等の資源を開拓するとともに、それらを有効活用しさまざまな活動につなげています。

相談・広報事業



東京都 0歳子育て応援隊

コロナ緊急支援で短期集中の活動でしたが、初めて赤ちゃんを育てる新米パパたちは、講座を通じてお互いがひとりではないこと・仲間がいることを感じる事ができ、子育て広場を立ち上げたばかりの地域スタッフには、運営のノウハウを伝えることができました。今後の定期開催につながる貴重な支援を本当にありがとうございました。